



## ご 挨拶

会長 大橋 聖一(D45) 幹事長 村瀬 由明(D53)

緑会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、緑会の諸行事および運営に対し、暖かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス蔓延は昨年に引き続き収まっておらず、この5月の時点では第四波の到来と言われており、社会行動や経済への影響が甚大です。緑会行事も昨年に引き続き異例の対応をしています。この内容は昨年9月以降の緑会の動きの報告とさせていただきます。なお最近の緑会の行事は中止かメールかで活動が見えにくいと思いますので、やや細部に入るかと思いますが、執行部で活動したことを含めて報告いたします。

炎で会告した昨年の総会は中止としました。10月24日には幹事長意見交換会を幹事長含む執行部2人と学内幹事2人により開催しました。この内容は主にキャリアサポートをオンラインで開催するにあたっての対応になりました。総会に先立って開催していた第2回常任幹事会も11月26日にメール会議としました。ここでは本年度のキャリアサポートの実施、緑会教員研究費等補助の変更、ホームカミングデイの中止を議論しました。メール会議ですが幹事からは4件ほどの意見が寄せられました。さらにこの常任幹事会の結果に基づき第一回役員会も12月17日にメール会議で開催いたしました。

キャリアサポート交流会は昨年は中止ですが2年連続で中止は好ましくないことから、本年は令和3年1月13日にオンラインで開催しました。詳しい報告は別に記載される実施報告をご覧くださいと思います。オンラインでの対応は学生は馴染みがあるようなのですが、幹事の参加は非常に少なく同窓生諸兄の対応の向上が今後の課題になるように思えました。オンラインの試みは初めてであり、従来の参加企業がどの程度参加意思があるか確認するために、事前アンケートを取りました。また事後にも学生、参加企業にアンケートを実施しています。

2月20日には幹事長意見交換会をTeamsによるオンライン

で幹事長含む学外幹事3人と学内幹事2人で開催しました。この議題はキャリアサポートの結果報告とアンケートに基づき今後の開催の方針について議論いたしました。

また学生に緑会入会を促す学生連絡会を5月にオンラインで開催しました。化学公開セミナーについては6月末にオンライン開催とのことでした。第3回常任幹事会は5月にメール会議としました。昨年度は役員改選時期にあたりましたが、一年留任としたところですが、状況の改善が見込められないため、さらに一年留任といたしました。またメール会議や、オンライン開催の意見はあるものの、ワクチン接種の効果が社会全体に好影響を及ぼすなら、本年度の総会ではできる限り現地開催で行いたいという意見になりました。この「炎」は総会の会告でもあることから、総会に先立つ8月までに送付といたしました。また、本年度の総会も9月にいたします。

昨年に引き続きメールやリモートでの会議が継続しているため、幹事長としましては、できるなら皆様とお会いして各種行事を現地開催で進めたいと思っています。しかしながら大学構内への入場制限、会食の可否、大学行事開催状況、名古屋工業会主催行事実施状況など社会的状況を注視しながら、ギリギリの判断を行っています。学内幹事の先生方にはイレギュラーな対応をお願いしています。リモート・オンラインツールでは学生は比較的対応可能かと思いますが、各家庭から繋がる幹事やOBの方々からは接続環境に依存するために皆様方に公平に接続が難しい状況にあるようです。このため参加不可能な方が出る可能性があり、全てオンラインにすることは躊躇しています。次の総会では可能な限り現地開催を進めたいと考えています。

最後に、新型コロナウイルスの早い終息を祈念するとともに、今後の緑会の活動が円滑に実施できるよう皆様方の本会への更なるご支援をお願いして挨拶とさせていただきます。

(文責：村瀬由明)



## ご 挨拶

生命・応用化学科 教育類長 北川 慎也

緑会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。本年度の教育類長・専攻長を務めさせていただきます分析化学分野の北川です。よろしく願い申し上げます。緑会の皆様には、平素より「キャリアサポート交流会」、「化学公開セミナー」等を通して、格別のご高配を賜り、厚くお

礼申し上げます。

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度の「キャリアサポート交流会」はオンライン開催に、また「化学公開セミナー」は中止となってしまいました。2021年度につきましては、「化学公開セミナー」はオンライ

ンで開催を行いました。「キャリアサポート交流会」はコロナ禍の状況にもよりますが、現地開催ができないかと考えております。その際には、是非皆さまのご参加をよろしくお願い致します。

本学の新型コロナウイルスに対する対応といたしましては、2020年度は講義・実験・演習などのほとんどがオンライン（オンデマンド）で行わざるを得ない状況でしたが、2021年度につきましては、講義については、オンラインもしくはハイブリッドと柔軟に対応しております。一方、実験・演習については対面で実際に行う方針となっております。研究活動につきましても、2020年4-5月は原則停止でしたが、その後は感染防止を十分に行いながら進めております。状況は改善されつつありますが、依然として続く荒波を乗り越えるべ

く、教職員一同精進し研究・教育に邁進していく所存です。

さて、学科内の近況をご報告いたします。3月末には、長年本学科の教育・研究・運営にご尽力いただきました、物理化学分野の吉野明広准教授がご退職されました。新年度4月からは、化学工学分野の岩田修一准教授が教授にご昇任されました。また、春の褒章にて神取秀樹教授が紫綬褒章を受章されるという非常に喜ばしいこともありました。

最後になりましたが、新型コロナウイルスによる景気動向が学生の就職状況にも影響しかねないご時世ではございますが、緑会の皆様には本学科の学生ならびに教職員に対して今後も変わらぬご支援賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝ならびにご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

生命・応用化学科 D分野就職担当 加藤 禎人

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。これまで長きにわたり山下教授が全学も含め本学科の就職担当を担われてきましたが、本年度よりそれを引き継ぐこととなりました。変わらぬご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

思い起こせば、平成25年5月発行の緑会ニュース'13に一度執筆させていただきましたが、その時と比較すると就職活動もかなり様変わりしてきました。8年前は山下キャリアサポートオフィス長のご活動が軌道に乗り、成果が出始めたころでした。今では名工大の就職事情は他大学より優れた実績になっており、この後を受けるのはかなりしんどいことでしたが、すでにレールができていたので肩の力を抜いて進めていこうと考えています。この原稿を書いているのは4月下旬ですが、内々定をいただいて会社を決めたと報告のあった学生はD:2名、M:40名、B:7名で全体の約4割程度であり、これも先人が切り開き、舗装してくださった道は広くて頑健な道であると再認識させられるものでした。(6月中旬の校正時にはM:75名、B:13名、全体で84%の内定率になりました。)

前回、学生に対してマニュアルに従った面接でなく、個性を生かして自己表現すればおのずと道は開かれる旨のことを書きましたが、その考え方は当時よりいっそう強調されるものと思います。面接も対面ではなく、オンラインもあります。

こういう時こそ、学生さんたちは安定な大企業ばかり目指すのではなく（このご時世では盤石だった大企業でさえ、先の見通しが必ずしも安定だとは言いきれません）、広い視野に立って優れた技術を持つ中小企業にも目を向けていただけたらと存じます。また、これまでは自分の力だけで進んできたと思いますが、せっかく研究室に配属されているわけですから、就職に関しては一人で悩むのではなく多くの先輩方に甘えてみるのも一つの考え方だと思います。就職後は自分の力だけでなく、他の人と協力しながらチームで成果を挙げることとなります。これからが本当の人生ですので自信をもって前に進んでいただきたいと存じます。

実は、ここで筆をおくつもりだったのですが、報告しなければならぬトピックが出てきました。ご存じの方も多いかもしれませんが、センター試験、個別試験と2回の入試を突破した第二部物質工学科57歳硬式野球部のオールドルーキーとして本学の学生（社会人学生）が各種メディアでずいぶん取り上げられました。4月23日現在で朝日、毎日、中日だけでなく中日スポーツ、スポーツニッポンという新聞、CBC、NHKというラジオ、東海、NHKというテレビ、そして雑誌、Youtubeなどあらゆるメディアの取材を受けました。同時に来年第二部は電気、機械、土木中心に改組され、化学系はなくなり、まさしくDとして第二部の最後？を飾る華々しい話題となりました。

## 生命・応用化学科および緑会の沿革

- |             |                                 |             |  |
|-------------|---------------------------------|-------------|--|
| 明治38. 3. 28 | 名古屋高等工業学校創立に際し色染科として設置される（3年生）。 | 昭和16. 4. 1  | 科名を工業化学科と改称し、色染・合成・窯業の3分科とする。                    |
| 明治41. 3.    | 第1回卒業生7名輩出（同窓会名：DD倶楽部と称す）       | 昭和17. 3. 23 | 第2部（夜間、4年制）の併設に伴い工業化学科が設けられる。                    |
| 昭和 4. 4. 1  | 工業教員養成所の敷設に伴い色染科が設けられる。         | 昭和19. 4. 1  | 名古屋高等工業学校が名古屋工業専門学校と改称されるにあたり、化学工業科となり窯業分科が置かれる。 |
| 昭和12. 4.    | 同窓会名：名染會と改称                     | 昭和20. 4. 1  | 窯業分科が窯業科として独立する。                                 |
| 昭和14. 3. 29 | 科名を色染化学科と変更する。                  |             |  |

- |             |  |                |  |
|-------------|--|----------------|--|
| 昭和23. 3. 31 | 第2部が廃止される。   |                | 部が物質工学科に改名される。   |
| 昭和24. 5. 31 | 名古屋工業大学の発足に当たり、工業化学科として設置される。  | 平成20. 3. 26    | 緑会第100年目の卒業生を輩出する。   |
| 昭和26. 3. 31 | 名古屋工業専門学校および同附設工業教員養成所が廃止される。  | 平成21. 4. 1     | 大学院工学研究科博士課程（前期2年、後期3年）未来材料創成工学専攻、創成シミュレーション工学専攻が独立専攻として設置される。   |
| 昭和28. 4.    | 同窓会名：緑会と改称   |                |  |
| 昭和32. 4. 1  | 短期大学部（夜間、3年制）に工業化学科が増設される。   | 平成25. 4. 1     | 大学院工学研究科博士後期課程に共同ナノメディシン科学専攻が設置される。  |
| 昭和34. 4. 1  | 第2部（夜間、5年制）の設置に伴い工業化学科が設けられる。  | 平成28. 4. 1     | 学科改組・大学院改組により、学部は生命・応用化学科、大学院工学研究科は生命・応用化学専攻に改組される。6年一貫の教育課程として、創造工学教育課程が新たに設置される（材料・エネルギーコース（生命・物質化学分野））。 |
| 昭和36. 3. 31 | 短期大学部が廃止される。   |                |  |
| 昭和36. 5. 19 | 名古屋工業大学工業教員養成所（3年制）が併設され、工業化学科が設けられる。                                  | 令和 2. 4. 1     | 大学院工学研究科博士前期課程の既設5専攻を再編し、工学専攻1専攻とし、生命・応用化学系プログラムが設置される。  |
| 昭和39. 4. 1  | 大学院工学研究科（修士課程、2年制）工業化学専攻が設置される。  | 令和 4. 4. 1（予定） | 第二部4学科が再編され、工学部 基幹工学教育課程が設置される。物質工学科は実質廃止。大学院工学研究科博士後期課程の既設5専攻を再編し、工学専攻が設置される。                             |
| 昭和42. 4. 1  | 合成化学科が増設される。   |                |  |
| 昭和44. 3. 31 | 名古屋工業大学工業教員養成所が廃止される。  |                |  |
| 昭和46. 4. 1  | 大学院工学研究科に合成化学専攻が設置される。   |                |  |
| 昭和60. 4. 1  | 大学院工学研究科博士課程（前期2年、後期3年）物質工学専攻が設置される。学部は第1部が応用化学科に改組され、第2部が応用化学科に改名される。 |                |  |
| 平成16. 4. 1  | 第1部が生命・物質工学科に改組され、第2   |                | （途中昭和27年度は3年制から4年制に移行のため卒業生 零）<br>（ただし、戦時中は2回/年の卒業があった）  |



## ◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

令和2年度東京支部長 刑部 道博(D54)

昨年の「炎」では、緑会東京支部の活動として、例年5月と10月に開催する学年幹事会、11月の「緑会東京支部秋の集いと名古屋工業会東京支部総会・講演会・懇親会」、そして1月の幹事新年会について紹介させていただきました。しかし、残念ながら昨年度に関しては、コロナ禍の影響により皆さんに集ってもらい会を催すことが一切できませんでした。学年幹事会はメールによる報告を中心とした連絡会議にとどめ、秋の集いは実現できず名古屋工業会（以下、名工会）東京支部総会として書面による審議を実施、そして幹事親睦の場である新年会は開催を見送りました。関東地区はコロナ感染者数が多く、年間を通じて他地区以上に厳しい環境下での支部活動を経験することとなりました。

緑会東京支部の関東地区での活動は名工会東京支部と連携しながら進めていますが、令和3年度は名工会東京支部の役員改選の年に当たり、単科会間で持ち回りとなっている名工会東京支部長を緑会が担当し、名工会東京支部の活動を主導することになります。コロナ禍がなかなか終息せず、昨年度に引き続き厳しい条件下での活動となりますが、緑会東京支部から選出されている多くの役員（全役員の1/4に相当）の皆さんの協力を得て大役を務めることとなります。

令和3年度は緑会東京支部も新しい役員体制（D57大久保支部長、D①馬場幹事長兼会計）となります。これを機に支部活動を支えている学年幹事を増員し、緑会本部との連携を一層強固なものとした支部活動の実現を目指します。



## ◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 西川 嘉一(G50)

昨年よりもコロナが広がり、大阪府内の医療現場は完全に崩壊しました。入院すべき患者が1万人以上自宅待機を強いられています。現在も5月31日までの緊急事態宣言が発令中ですが、6月以降の宣言解除は、かなり難しい情勢です。従って、名古屋工業会の行事も全面的に中止されており、

緑会近畿支部も、活動停止の状況です。ただ、大阪支部としては、月一回の頻度でリモート会議を行い情報交換の機会を設けています。色々な企画はありましたが、すべて中止もしくは延期されました。昨年10月の大阪支部総会も、リモートで名古屋工業会本部

と堂島の電気クラブ会議室を結んで行いました。会員各位には、自宅でのリモート参加をいただきました。

現在、大阪支部はCISCOのWeb会議システムを使用しています。緑会でも同じシステムを導入して、会員相互でのリモ

ート会議を行なう準備中です。

ぜひ、緑会本部においても、名古屋・東京・大阪を結んでのリモート会議を実施できるシステム構築を希望しています。



## 令和2年度キャリアサポート交流会・懇談会のオンライン開催について

学内庶務幹事 古谷 祐詞

緑会の主要行事であるキャリアサポート交流会・懇談会は、2008年より、企業関係者によるポスターセッションが設けられました。このポスター形式の交流会は企業関係者・学生からも好評であり、これまで2018年まで継続してきました。しかしながら、昨年度、2019年3月は新型コロナウイルス感染症が拡大し、小中高校が全国一斉臨時休校されるなどの状況のため、中止となりました。今年度は、初の試みとしてキャリアサポート交流会をオンラインで開催いたしました。また、就職活動時期の前倒しもあり、開催日も2021年1月13日と2か月早めての開催となりました。

オンラインでの開催にあたっては、大学のキャリアサポートオフィスによる企業研究セミナー（企業勉強会）の運営に関わっていた株式会社日本キャリアセンターに一部業務委託し7、8人と少人数でテーブルを囲んで会話やプレゼンが行えるRemoというバーチャル会議ツールを利用しました。第一部のキャリアサポート交流会では、会社毎にテーブルを1つ用意して、20分を1つのタームとして、合計6タームで行いました。第二部のオンライン懇談会では、企業関係者に自由に席を移動していただく形としました。

企業関係者・学生の皆様からはオンラインでもキャリアサポート交流会・懇談会を実施してもらってよかったとの声があり、概ね好評のようでしたが、来年度以降はやはり対面でのポスター形式での実施を望む声が多くありました。来年は新型コロナウイルス感染症が終息して、従来通りの交流会・懇談会が行われることを願ってます。

令和2年度キャリアサポート交流会・懇談会

(令和3年1月13日)

### ・当日の参加企業数、参加登録者数

	令和2年度	平成31年度(中止)	平成30年度	平成29年度
企業数	66社	—	86社	90社
企業関係者(卒業生)	117名(32名)	—	152名	174名
学生	178名	—	113名	154名
緑会役員	5名	—	5名	10名
教員	16名	—	9名	14名

### ・当日のスケジュール概要

日時：令和3年1月13日（水）

場所：オンライン会議システムRemo

(管理運営：株式会社日本キャリアセンター)

主催：名古屋工業大学 緑会

共催：名古屋工業大学 生命・応用化学科 生命・物質化学分野（D分野）

12:00-13:00 Remoへの接続開始

13:00-13:20 同窓会およびD分野よりご挨拶

緑会幹事長 村瀬 由明、  
2020年度 D分野長 伊藤 宏、  
就職担当 山下 啓司、  
2021年度 教育類長 北川 慎也

13:25-16:00 第一部 キャリアサポート交流会

(令和3年度卒業/修了予定者への会社説明)

16:00-17:30 第二部 オンライン懇談会



## 神取 秀樹教授が令和3年春の紫綬褒章を受章

神取秀樹教授は、平成13年11月に京都大学理学研究科から本学に助教授としてご着任され、平成15年4月には教授に昇進され、これまで本学の研究教育を推進されてきました。このたび、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた方に対して授与される紫綬褒章を受章されるに至りました。



### 【業績の概要】

生物物理学分野において、視覚に関わる光応答タンパク質の研究により、視覚の初期過程や霊長類の赤・緑・青視物質の構造を分光学的に解明するとともに、光応答タンパク質である微生物のロドプシンに関する機能を発見・転換・創成するなど優れた業績を挙げ、関連分野の発展に多大な貢献をした。

### ※本人からひとこと

このたびの褒章、たいへん光栄に思います。これも研究に参加してくれたスタッフや学生さんの頑張りのおかげです。紫綬の紫は、私が研究してきた様々なロドプシンの色であり、我々が創成したセシウムポンプの（セシウムの）炎の色ですね。今後も意欲あふれる本学科の学生さんとともに、ロドプシンの色としくみの謎に迫りたいと思っています。

## 第12回化学公開セミナーについて

2021年度の化学公開セミナーは、2021年6月30日(水)に

「アセトンからの選択的ベンゼン・トルエン・キシレン合成に向けたゼオライト触媒開発」

化学工学分野 廣田 雄一郎 准教授

「筋収縮による細胞機能の修飾機構」生化学分野 小笠原 理紀 准教授

上記の題名にて2名の先生方にオンラインでご講演いただきました。

2022年度の開催については未定です。

開催については、名古屋工業大学 生命・応用化学HP

<http://lsac.web.nitech.ac.jp>

の新着情報をご確認ください。

教員の異動（2020. 4 以降）

退職 2021年 3月31日 吉野 明広 准教授  
昇任 2021年 4月 1日 岩田 修一 教授

## 令和 2 年度卒業生就職先一覧

### ●博士後期課程●

名古屋工業大学

### ●博士前期課程●

愛三工業(株), アイシン精機(株), 愛知製鋼(株),  
アジレント・テクノロジー(株), アピ(株), 一丸ファルコス(株),  
出光興産(株), イビデン(株), (株)インテック, 宇部興産(株), AGC(株),  
エスケー化研(株), (株)NTTデータ東海, エンケイ(株), 岡谷鋼機(株),  
関東電化工業(株), 京セラ(株), キリンホールディングス(株),  
グローブライド(株), KHネオケム(株), KOA(株), 互応化学工業(株),  
(株)さなる, サンディスク, JSR(株), (株)シマノ,  
JAPAN TESTING LABORATORIES(株), 十全化学(株),  
セイカ(株)和歌山, 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE),  
(株)セキソー, ゼブラ(株), 中央発條(株), 中設エンジ(株),  
中部電力(株), 筒井工業(株), (株)デンソー, 東亜合成(株),  
東海理化(株), 東芝インフラシステムズ(株), 東邦ガス(株), 東レ(株),  
豊田合成(株), (株)豊田自動織機, トヨタ車体(株), トヨタ紡織(株),  
名古屋工業大学大学院博士後期課程, 名古屋市役所,

ニチアス(株), 日新電機(株), 日星電気(株), 日東工業(株),  
日本製鉄(株), 日本特殊陶業(株), 日本ガイシ(株), 日本電産(株),  
(株)野村総合研究所, ハウス食品(株), 浜松ホトニクス(株),  
ブラザー工業(株), (株)ホーユー, (株)堀場エステック,  
丸善石油化学(株), 三井化学(株), (株)Mizkan, 三菱ケミカル(株),  
(株)村田製作所, 明成化学工業(株), (株)メニコン, 吉野石膏(株),  
(株)LIXIL, リンナイ(株)

### ●第一部●

(株)Aver, エーエスペイント(株), JBCC(株), (株)セキソー,  
筒井工業(株), 東和耐火工業(株), トヨタ車体(株), トヨタ紡織(株),  
日本貨物鉄道(株), (株)ネクスウェイ, (株)パロマ, ボッシュ(株),  
明治チューンガム(株), ローム・ワコー・エレクトロニクス・マレーシア,  
(株)ロンビック

### ●第二部●

(株)アウトソーシングテクノロジー

## 令和 3 年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記の要領で開催いたします（今回は学内会場ではないのでご注意ください）。  
同窓生をお誘い合わせの上、ぜひともご参加いただければ幸いです。

記

日 時 令和 3 年 9 月 11 日 (土) 14 時 30 分から 17 時まで  
場 所 ウィンクあいち (愛知県産業労働センター) 11 階 1104 室  
愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

- 総 会
- 大学近況報告
- 講 演

題目 「エンジニアリング企業の業務と最近の業界動向について」  
講師 刑部 道博 氏 (工業化学科昭和54年卒業)

※懇親会は行いません。

ご参加いただける同窓生の皆様におかれましては、8月30日(月)までに、下記の事務局宛、  
E-mailまたはハガキにて「ご氏名」「ご連絡先」をご連絡いただければ幸いです。

※申込者多数の場合は会場定員の都合によりお断りすることがございます。また、新型コロナウイルス感染症の状況悪化などによる中止のご連絡は緑会HPに掲示いたします。

連絡先 名古屋工業大学 緑会事務局 宛  
E-mail : [midori@ach.nitech.ac.jp](mailto:midori@ach.nitech.ac.jp)  
住所 : 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

## 名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>  
緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>  
名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下にお願いします。

E-mail : [renkei@adm.nitech.ac.jp](mailto:renkei@adm.nitech.ac.jp)  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 卒業生連携室  
卒業生連携室HP : <https://alum.nitech.ac.jp/>